





















つしん景況レポート

作州地域中小企業景況動向調査 2012.10~12月期 第4回

【特別調査-平成25年の経営見通し】

あけましておめでとうございます。津山信用金庫は、作州地域内の経営者のご協力のもと、第4回つしん景況レポートを発刊させていただきました。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況：10月～12月の業況は晴れ時々曇、1月～3月の見通しは曇り■

【地域別天気図】	2012年 1月～3月	2012年 4月～6月	前期実績 7月～9月	今期実績 10月～12月	来期見通し 1月～3月
作州地域全体					
津山鏡野地域					
真庭地域					
美作勝央地域					

今期(2012年10月～12月)の業況判断DIは前期比15.0ポイント改善しプラス12.6となった。

来期(2013年1月～3月)の見通しはプラス3.9と悪化する見通しとなっている。地域別には、今期は全地域でプラスとなった。来期は津山鏡野地域がマイナス予想、真庭地域と美作勝央地域はプラス予想となっており、作州地域全体ではプラスの見通しとなっている。

業況判断DI	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績			来期見通し				
	DI	DI	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
作州地域全体	3.3	▲1.6	▲2.4	37.1	38.4	24.5	12.6	31.1	41.7	27.2	3.9
津山鏡野地域	5.5	▲4.0	▲6.7	34.4	34.4	31.2	3.2	26.9	41.9	31.2	▲4.3
真庭地域	▲11.1	0.0	11.5	45.2	35.5	19.4	25.8	41.9	38.7	19.4	22.5
美作勝央地域	13.0	4.5	▲4.5	37.0	55.6	7.4	29.6	33.3	44.4	22.2	11.1

※ DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上～ 30未満	0以上～ 10未満	△10以上 ～ 0未満	△30以上 ～ △10未満	△30未満
天気図						

■ 全業種総合 ■

【業種別天気図】	2012年 1月～3月	2012年 4月～6月	前期実績 7月～9月	今期実績 10月～12月	来期見通し 1月～3月
製造業					
建設業					
卸売業					
小売業					
不動産業					
サービス業					
全業種					

●今期（2012年10月～12月）の業況判断DIは、製造業、建設業とサービス業がプラスとなり、全業種でも12.6となった。来期（2013年1月～3月）の見通しは、卸売業と不動産業を除きプラス予想となっており、全業種でプラス3.9の見通しとなっている。

全業種	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績				来期見通し			
				良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	3.3	▲ 1.6	▲ 2.4	37.1	38.4	24.5	12.6	31.1	41.7	27.2	3.9
売上	7.3	▲ 7.3	13.0	47.7	29.8	22.5	25.2	36.4	34.4	29.1	7.3
収益	0.8	▲ 4.8	▲ 1.6	41.1	37.1	21.9	19.2	27.8	42.4	29.8	▲ 2.0
昨年同期比較売上	8.9	3.2	13.8	43.0	25.2	31.8	11.2				
昨年同期比較収益	▲ 4.1	4.8	14.6	39.1	31.1	29.8	9.3				

- 売上DIは、前期に引き続きプラスで12.2ポイント改善し、今期（2012年10月～12月）はプラス25.2となった。来期（2013年1月～3月）はプラス7.3の見通しとなっている。
- 収益DIは、前期比20.8ポイント改善し、今期はプラス19.2となった。来期はマイナス2.0の見通しとなっている。
- 昨年同期比較DIは、前期に引き続きプラスで売上DIと収益DI共にプラスとなった。業種別には、製造業、建設業とサービス業がプラスとなり、卸売業、小売業と不動産業がマイナスとなった。


全業種	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績				来期見通し			
				楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI
資金繰り	▲ 5.7	▲ 3.2	▲ 2.4	11.3	74.2	14.6	▲ 3.3	11.3	78.8	9.9	1.4
雇用(人手過不足)	▲ 26.0	▲ 23.4	▲ 17.1	7.9	61.6	30.5	▲ 22.6	4.6	72.2	23.2	▲ 18.6
設備投資	▲ 8.9	▲ 11.5	▲ 13.4	5.7	84.3	10.0	▲ 4.3	2.9	88.6	8.6	▲ 5.7

- 資金繰り判断DIは、年初来マイナスが続き今期（2012年10月～12月）もマイナス3.3となったが、来期（2013年1月～3月）はプラス1.4の見通しとなっている
- 人手過不足判断DIは、今期は全業種でマイナスとなった。来期は卸売業を除き全業種でマイナスの予想となっている。売上が増加し多忙になっても採用には慎重になっている企業が多い。
- 設備投資DIも、年初来マイナスが続き今期も来期もマイナス予想となっているが、8割以上の企業が「適正」との回答で「過剰・やや過剰」と回答があった企業はほとんどなかった。製造業では、「工場・機械の狭小・老朽化」を経営の問題点と回答している企業が1割程度あった。


■製造業■

製造業全般	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	14.6	2.4	4.9	50.0	28.0	22.0	28.0	36.0	40.0	24.0	12.0
売上	4.9	7.3	19.5	52.0	32.0	16.0	36.0	32.0	38.0	30.0	2.0
収益	▲ 4.9	9.8	2.4	48.0	38.0	14.0	34.0	18.0	46.0	36.0	▲ 18.0

- 製造業の業況判断DIは、年初来プラスとなっており今期（2012年10月～12月）も23.1ポイント改善しプラス28.0となった。来期（2013年1月～3月）見通しはプラス12.0となっている。
- 売上判断DIも、年初来プラスとなっており今期も16.5ポイント改善しプラス36.0となった。来期の見通しはプラス2.0となっている。
- 収益判断DIは、前々期からプラスとなっており、今期は31.6ポイント改善しプラス34.0となった。来期の見通しは利幅の縮小等が予想されることからマイナス18.0となっている。

製造業のうち： 金属製品製造業	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	77.8	11.1	55.6	72.7	18.2	9.1	63.6	45.5	45.5	9.1	36.4
売上	55.6	▲ 22.2	44.4	54.5	27.3	18.2	36.3	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3
収益	33.3	▲ 22.2	22.2	54.5	27.3	18.2	36.3	0.0	36.4	63.6	▲ 63.6

- 金属製品製造業の業況判断DIは、年初来プラスとなっており今期（2012年10月～12月）もプラス63.6となった。来期（2013年1月～3月）見通しはプラス36.4となっている。
- 売上判断DIは、前期に引き続きプラスで今期はプラス36.3となった。来期見通しは増加を予想する企業が激減しマイナス27.3となっている。
- 収益判断DIも、前期に引き続きプラスで今期はプラス36.3となった。来期見通しは収益の増加を予想する企業はなくマイナス63.6となっている。
- 売上・収益判断DIがマイナスになったのは、販売納入先からの値下げ要請による販売単価下落と為替レート変動による原材料高予想が影響している。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	▲ 50.0	▲ 37.5	0.0	60.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0
売上	▲ 25.0	12.5	50.0	70.0	20.0	10.0	60.0	50.0	30.0	20.0	30.0
収益	▲ 37.5	12.5	25.0	50.0	40.0	10.0	40.0	20.0	60.0	20.0	0.0

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス40.0で大幅な改善となった。来期(2013年1月~3月)見通しはプラス20.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス60.0と前期に引き続き高ポイントとなった。来期見通しはプラス30.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス40.0となった。来期見通しはゼロとなっている。
- 住宅着工件数の増加により販売数量の増加が見込まれる反面、原材料単価はユーロ高で外国材の上昇や大雪予想による越冬在庫の積み増しによる原木相場の上昇から仕入コスト高が予想されている。

製造業のうち: 農林業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	▲ 20.0	10.0	▲ 30.0	36.4	36.4	27.3	9.1	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3
売上	▲ 30.0	20.0	▲ 40.0	45.5	45.5	9.1	36.4	9.1	45.5	45.5	▲ 36.4
収益	▲ 40.0	20.0	▲ 40.0	54.5	36.4	9.1	45.4	9.1	45.5	45.5	▲ 36.4

- 農林業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス9.1となった。来期(2013年1月~3月)見通しはマイナス27.3となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス36.4、来期見通しはマイナス36.4となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス45.4、来期見通しはマイナス36.4となっている。
- 農業は、冬場の収穫減が見込まれる。
- 林業は、原木相場は回復傾向になっている。また、冬場は雪の影響で生産性が落ちる傾向がある。

■ 建設業 ■												
建設業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 				
	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	
業況	23.8	28.6	18.2	44.4	40.7	14.8	29.6	33.3	37.0	29.6	3.7	
売上	28.6	23.8	18.2	44.4	40.7	14.8	29.6	37.0	37.0	25.9	11.1	
収益	▲ 4.8	4.8	0.0	40.7	37.0	22.2	18.5	29.6	40.7	29.6	0.0	

- 建設業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス29.6となった。来期(2013年1月~3月)見通しはプラス3.7となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス29.6、来期見通しはプラス11.1となっている。
- 収益判断DIは、今期18.5、来期見通しはゼロとなっている。
- 住宅建設を除く建設業の業況判断DIは、今期プラス26.7となったが、来期見通しはマイナス13.3となっている。
- 防災・減災に関する公共工事の発注を期待する声があった。

建設業のうち: 住宅建設	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	20.0	66.7	30.0	50.0	33.3	16.7	33.3	41.7	41.7	16.7	25.0
売上	20.0	77.8	30.0	41.7	41.7	16.7	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
収益	10.0	44.4	10.0	50.0	25.0	25.0	25.0	41.7	33.3	25.0	16.7

- 住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス33.3となった。来期(2013年1月~3月)の見通しはプラス25.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス25.0、来期見通しもプラス25.0となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス25.0、来期見通しはプラス16.7となっている。
- 岡山県の住宅着工件数は前年比約20%アップとなっている。特に県南での着工が増えており住宅バブルとの声があった。地場の住宅業者も県南まで販売エリアを広げる動きがある。

■卸売業■

卸売業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 63.6	21.4	50.0	28.6	▲ 7.2	14.3	50.0	35.7	▲ 21.4
売上	▲ 45.5	0.0	18.2	57.1	7.1	35.7	21.4	7.1	28.6	64.3	▲ 57.2
収益	▲ 54.5	25.0	9.1	57.1	21.4	21.4	35.7	14.3	35.7	50.0	▲ 35.7

- 卸売業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)マイナス7.2、来期(2013年1月~3月)見通しはマイナス21.4となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス21.4、来期見通しはマイナス57.2となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス35.7、来期見通しはマイナス35.7となっている。
- 作州地域を商圈とする企業が多く、今期は、売上・収益とも増加した企業が多かったが、来期は減少を見込む企業が半数を超えている。

■小売業■

小売業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 5.9	30.4	26.1	43.5	▲ 13.1	47.8	30.4	21.7	26.1
売上	38.9	▲ 38.9	▲ 11.8	47.8	21.7	30.4	17.4	73.9	17.4	8.7	65.2
収益	27.8	▲ 22.2	▲ 23.5	30.4	34.8	34.8	▲ 4.4	56.5	34.8	8.7	47.8

- 小売業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)マイナス13.1、来期(2013年1月~3月)見通しはプラス26.1となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス17.4、来期見通しはプラス65.2となっており、7割以上の企業が売上増加を予想している。
- 収益判断DIは、今期マイナス4.4、来期見通しはプラス47.8となっている。

小売業のうち: 自動車小売業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI区分	DI	DI	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 16.7	▲ 33.3	20.0	22.2	22.2	55.6	▲ 33.4	44.4	33.3	22.2	22.2
売上	16.7	▲ 50.0	▲ 20.0	22.2	33.3	44.4	▲ 22.2	77.8	11.1	11.1	66.7
収益	33.3	▲ 50.0	▲ 20.0	0.0	55.6	44.4	▲ 44.4	44.4	44.4	11.1	33.3

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)マイナス33.4、来期(2013年1月~3月)の見通しはプラス22.2となっている。
- 売上判断DIは、今期マイナス22.2、来期見通しはプラス66.7となっている。
- 収益判断DIは、今期マイナス44.4、来期見通しはプラス33.3となっている。
- 来期見通しでは、エコカー減税が3月末までであることや3月の新車販売期をむかえることにより売上の増加を見込む企業が多かった。

■不動産業■

不動産業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加
業況	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	0.0	70.0	30.0	▲ 30.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0
売上	0.0	▲ 30.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	30.0	40.0	30.0	0.0
収益	20.0	▲ 30.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)マイナス30.0、来期(2013年1月~3月)見通しはマイナス50.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス20.0、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断DIは、今期も来期もゼロとなっている。
- 消費税増税法案が可決されたことにより、消費税アップ前の住宅建築用地取得の活発化を期待する声がある。

■サービス業■

サービス業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加
業況	4.5	0.0	▲ 4.5	33.3	48.1	18.5	14.8	25.9	51.9	22.2	3.7
売上	▲ 4.5	▲ 31.8	9.1	40.7	29.6	29.6	11.1	29.6	40.7	29.6	0.0
収益	13.6	▲ 31.8	0.0	37.0	37.0	25.9	11.1	25.9	48.1	25.9	0.0

- サービス業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス14.8、来期(2013年1月~3月)見通しはプラス3.7となっている。
- 売上判断DIと収益判断DIは、今期プラス11.1、来期見通しはゼロとなっている。

サービス業のうち： 医療福祉業	1月~3月	4月~6月	7月~9月	今期実績 				来期見通し 			
				DI	DI	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加
業況	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	16.6	41.7	41.7	16.7	25.0
売上	▲ 11.1	▲ 66.7	11.1	33.3	41.7	25.0	8.3	41.7	33.3	25.0	16.7
収益	11.1	▲ 66.7	0.0	33.3	50.0	16.7	16.6	33.3	41.7	25.0	8.3

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2012年10月~12月)プラス16.6、来期(2013年1月~3月)見通しはプラス25.0となっている。
- 売上判断DIは、今期プラス8.3、来期見通しはプラス16.7となっている。
- 収益判断DIは、今期プラス16.6、来期見通しはプラス8.3となっている。
- 例年より早く厳しい寒さで風邪の患者が増加しており、売上が増加している。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	54.0	22.0	24.0	30.0
建設業	44.4	33.3	22.2	22.2
卸売業	14.3	21.4	64.3	▲ 50.0
小売業	34.8	21.7	43.5	▲ 8.7
不動産業	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
サービス業	55.6	14.8	29.6	26.0
総計	43.0	25.2	31.8	11.2

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	54.0	20.0	26.0	28.0
建設業	37.0	48.1	14.8	22.2
卸売業	21.4	35.7	42.9	▲ 21.5
小売業	21.7	34.8	43.5	▲ 21.8
不動産業	10.0	60.0	30.0	▲ 20.0
サービス業	48.1	18.5	33.3	14.8
総計	39.1	31.1	29.8	9.3

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	0.0	92.9	7.1	▲ 7.1
小売業	17.4	65.2	17.4	0.0
総計	10.8	75.7	13.5	▲ 2.7

① 昨年同期(2011年10月～12月)比較での売上高DIは、製造業、建設業とサービス業がプラスとなっており、全業種でプラス11.2となった。

② 昨年同期比較収益DIも、製造業、建設業とサービス業がプラスとなっており、全業種でプラス9.3となった。

③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業はマイナス7.1、小売業はゼロとなった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	1月～3月			4月～6月			7月～9月			今期実績				来期見通し			
	DI	DI	DI	DI	DI	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI			
製造業	▲ 19.5	▲ 17.1	▲ 12.2	14.0	82.0	4.0	10.0	10.0	82.0	8.0	2.0						
建設業	▲ 4.8	▲ 14.3	4.5	11.1	77.8	11.1	0.0	7.4	85.2	7.4	0.0						
卸売業	▲ 27.3	▲ 8.3	▲ 9.1	0.0	92.9	7.1	▲ 7.1	0.0	92.9	7.1	▲ 7.1						
小売業	27.8	▲ 5.6	▲ 11.8	17.4	60.9	21.7	▲ 4.3	39.1	52.2	8.7	30.4						
不動産業	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 40.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0						
サービス業	9.1	▲ 18.2	0.0	3.7	81.5	14.8	▲ 11.1	0.0	92.6	7.4	▲ 7.4						
総計	▲ 8.9	▲ 17.7	▲ 8.9	9.9	76.8	13.2	▲ 3.3	10.6	79.5	9.9	0.7						

● 販売価格DIは、今期は製造業と建設業を除きマイナスとなり全業種でマイナス3.3となった。来期見通しは、製造業と小売業がプラス予想となり全業種でプラス0.7となっている。不動産業では引き続き販売単価の下降を予想する企業が多い。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	1月～3月			4月～6月			7月～9月			今期実績				来期見通し			
	DI	DI	DI	DI	DI	DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降	DI			
製造業	9.8	9.8	0.0	14.0	78.0	8.0	6.0	16.0	80.0	4.0	12.0						
建設業	23.8	4.8	4.5	0.0	92.6	7.4	▲ 7.4	7.4	88.9	3.7	3.7						
卸売業	0.0	▲ 8.3	0.0	7.1	85.7	7.1	0.0	0.0	78.6	21.4	▲ 21.4						
小売業	44.4	▲ 27.8	11.8	34.8	52.2	13.0	21.8	26.1	69.6	4.3	21.8						
不動産業	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 40.0	0.0	70.0	30.0	▲ 30.0	0.0	90.0	10.0	▲ 10.0						
サービス業	27.3	18.2	▲ 4.5	11.1	85.2	3.7	7.4	11.1	88.9	0.0	11.1						
総計	15.4	▲ 2.4	▲ 1.6	12.6	78.1	9.3	3.3	12.6	82.1	5.3	7.3						

● 仕入価格DIは、今期は製造業、小売業とサービス業がプラスとなり全業種でプラス3.3となった。来期見通しは製造業、建設業、小売業とサービス業がプラス予想となり全業種ではプラス7.3となっている。

■在庫■

在庫DI	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績			来期見通し				
	DI	DI	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI
製造業	4.9	19.5	7.3	10.0	86.0	4.0	6.0	6.0	88.0	6.0	0.0
建設業	4.8	9.5	9.1	7.4	92.6	0.0	7.4	7.4	88.9	3.7	3.7
卸売業	18.2	8.3	18.2	14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	92.9	7.1	▲ 7.1
小売業	5.6	11.1	11.8	17.4	78.3	4.3	13.1	17.4	78.3	4.3	13.1
不動産業	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 20.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
総計	4.0	11.8	6.9	10.5	83.9	5.6	4.9	7.3	84.7	8.1	▲ 0.8

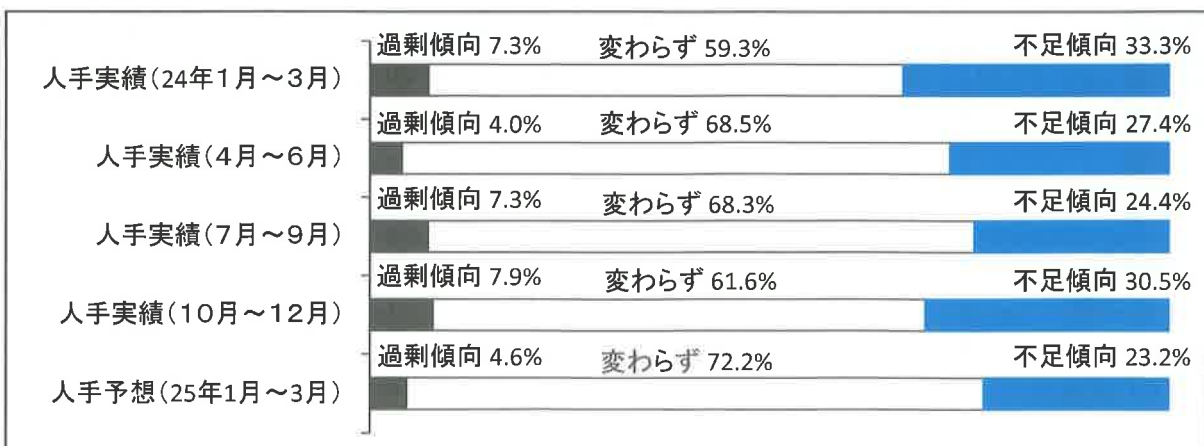
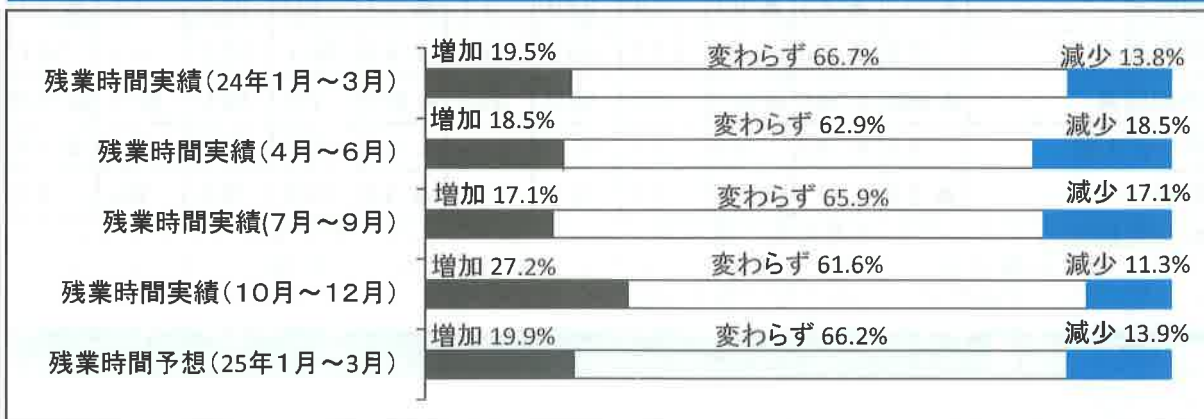
●在庫DIは、前期に引き続き不動産業を除きプラスとなった。また、8割以上の企業から「適正」との回答があった。不動産業者からは、販売可能な土地(商品物件)が不足しているとの声があった。

■受注残■

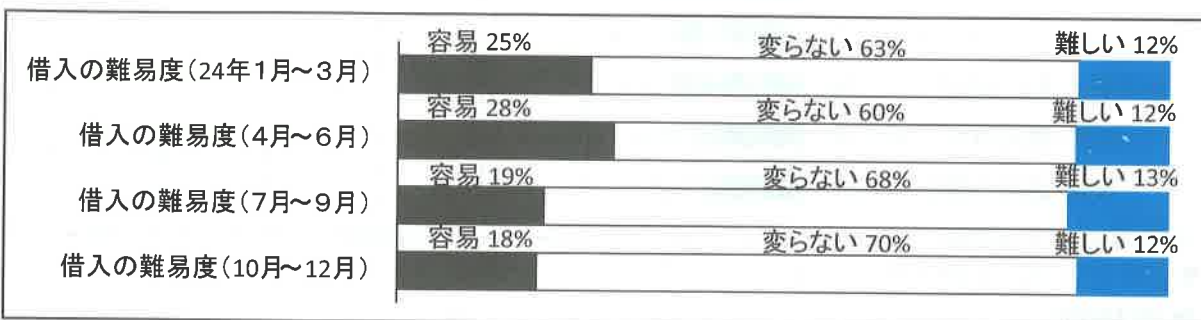
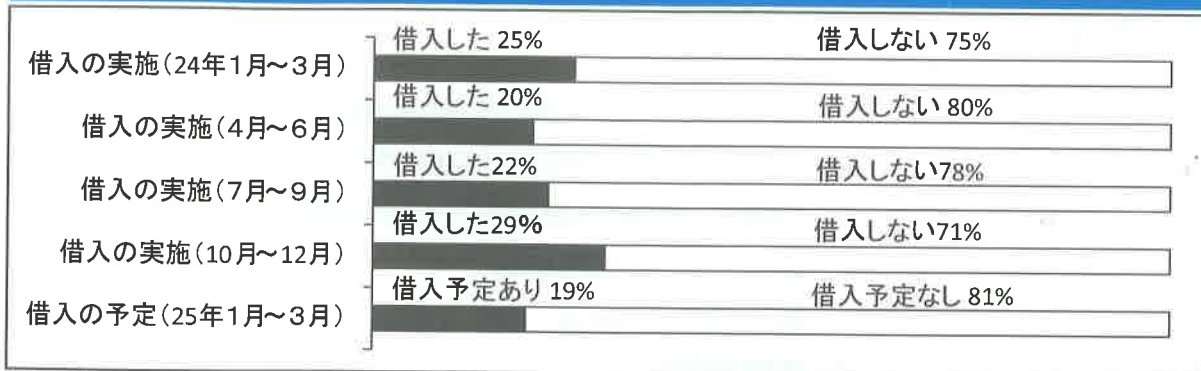
受注残DI	1月～3月	4月～6月	7月～9月	今期実績			来期見通し				
	DI	DI	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず	減少	DI
製造業	14.6	9.8	19.5	48.0	36.0	16.0	32.0	20.0	52.0	28.0	▲ 8.0
建設業	23.8	4.8	31.8	59.3	22.2	18.5	40.8	25.9	44.4	29.6	▲ 3.7
総計	17.7	8.1	23.8	51.9	31.2	16.9	35.0	22.1	49.4	28.6	▲ 6.5

●受注残DIは、前期に引き続き今期もプラスとなったが、来期見通しはマイナスとなっている。

■雇用面の動き■

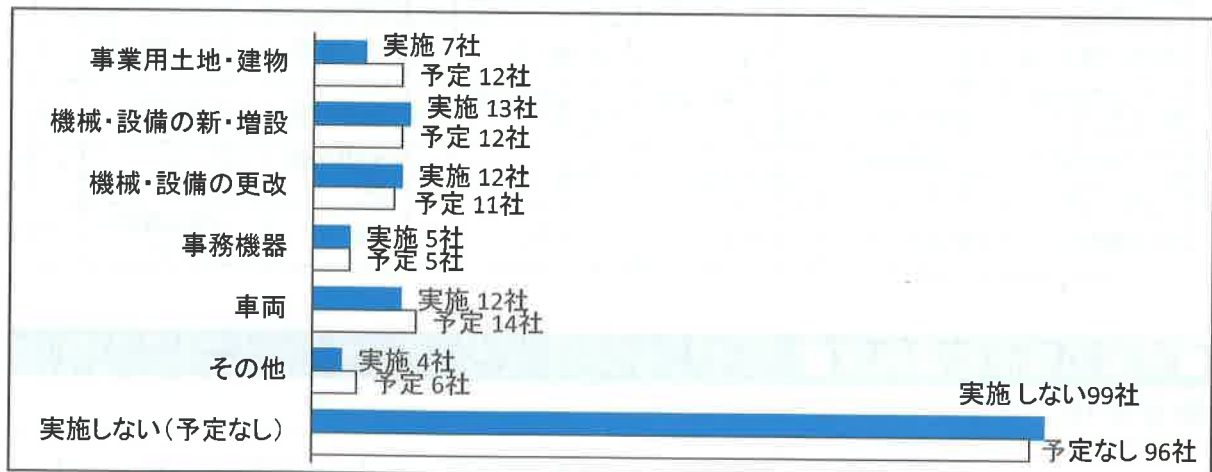


■借入金の動き・難易度■



■設備投資の実施(10月~12月)と予定(1月~3月)■

●全業種(除く不動産業:有効回答計141社)



●業種別(10月~12月)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
1位	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)
2位	機械・設備の新・増設	車両	車両	事務機器	機械・設備の更改
3位	機械・設備の更改	事業用土地・建物	事務機器	車両	事務機器

●業種別(1月~3月)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
1位	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)	実施しない(予定なし)
2位	機械・設備の新・増設	車両	事務機器	車両	機械・設備の更改
3位	機械・設備の更改	機械・設備の新・増設	事業用土地・建物	事業用土地・建物	事業用土地・建物

- 設備投資の実施(10月~12月)は、実施しない企業の割合が71%であった。
- 設備投資の予定(1月~3月)は、予定なしの企業の割合が69%であった。

■ 経営上の問題点 ■

● 全業種



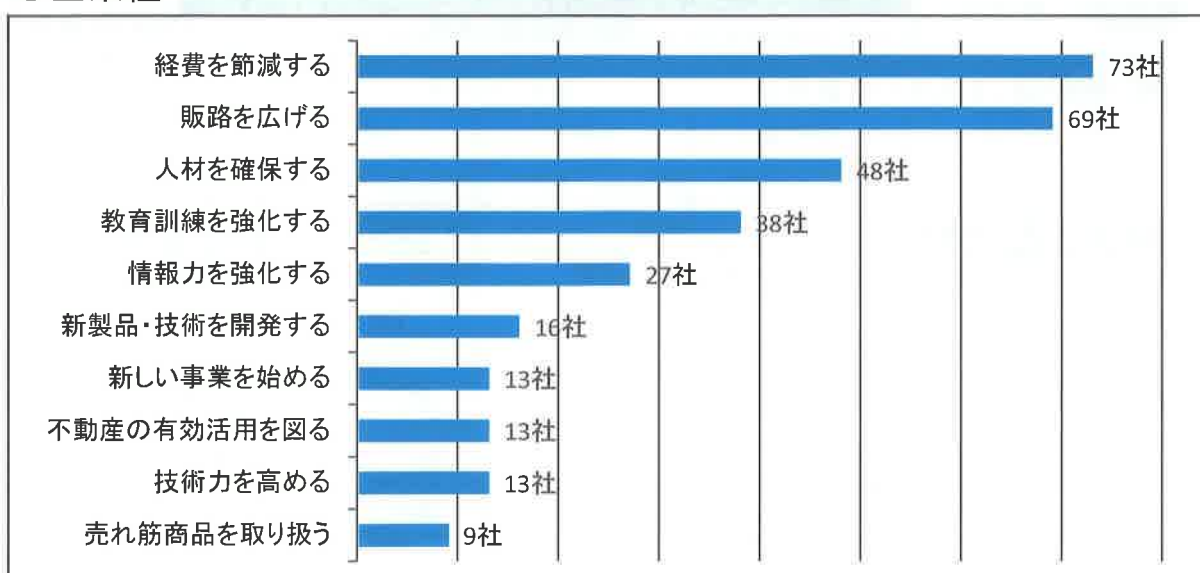
● 上位5項目は年間を通じて同じ項目であった。

● 業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	同業者間の競争の激化	14.4	売上の停滞・減少	16.2	売上の停滞・減少	23.1	売上の停滞・減少	16.1	利幅の縮小	31.8	人件費の増加	15.4
2位	売上の停滞・減少	11.9	人手不足	14.7	利幅の縮小	17.9	利幅の縮小	16.1	売上の停滞・減少	22.7	売上の停滞・減少	15.4
3位	工場・機械の狭小・老朽化	8.5	利幅の縮小	14.7	同業者間の競争の激化	15.4	同業者間の競争の激化	14.5	商品物件の不足	18.2	利幅の縮小	12.3
4位	販売納入先からの値下げ要請	8.5	同業者間の競争の激化	14.7	取引先の減少	7.7	商圏人口の減少	9.7	同業者間の競争の激化	13.6	人手不足	10.8
5位	利幅の縮小	7.6	人件費の増加	7.4	地場産業の衰退	5.1	人手不足	8.1	その他	9.1	店舗・設備の狭小・老朽化	9.2

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種



● 上位5項目は年間を通じて同じ項目であった。

●業種別

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	21.6	販路を広げる	20.9	販路を広げる	37.1	経費を節減する	20.3	不動産の有効活用を図る	25.9	経費を節減する	25.7
2位	経費を節減する	16.8	技術力を高める	19.4	経費を節減する	25.7	売れ筋商品を取り扱う	15.3	販路を広げる	14.8	教育訓練を強化する	18.9
3位	新製品・技術を開発する	12.8	人材を確保する	16.4	情報力を強化する	14.3	人材を確保する	13.6	情報力を強化する	14.8	人材を確保する	16.2

■調査員の調査コメントから■

○住宅着工件数は、23年度84万戸であったが、今年度は90万戸ベースで推移している。岡山県の県南では住宅バブルのようだという声があった。岡山県の住宅着工件数は、下のグラフのとおり前年比20%増加のペースとなっている。

○住宅建築業者の中には、岡山県南での営業を強化した企業や県南まで営業エリアを広げたり、検討している企業がある。また、季節的な要因かもしれないが、下請業者の確保が難しくなっているとの声が聞かれた。

○大手住宅メーカーの工事施工業者は、中国地区の下請業者が輪番で東北の震災復興需要による住宅新築工事の応援に数名を派遣している。

○東北の震災復興需要を見通した製造業者は、在庫の積み増しをしている。

○消費税増税前の駆け込み需要に期待している企業が多くあった。

○太陽光発電設備を設置する企業が、前回調査時に引き続いて多くあった。

○中古車の販売在庫が少なくなっているとの声が複数あった。

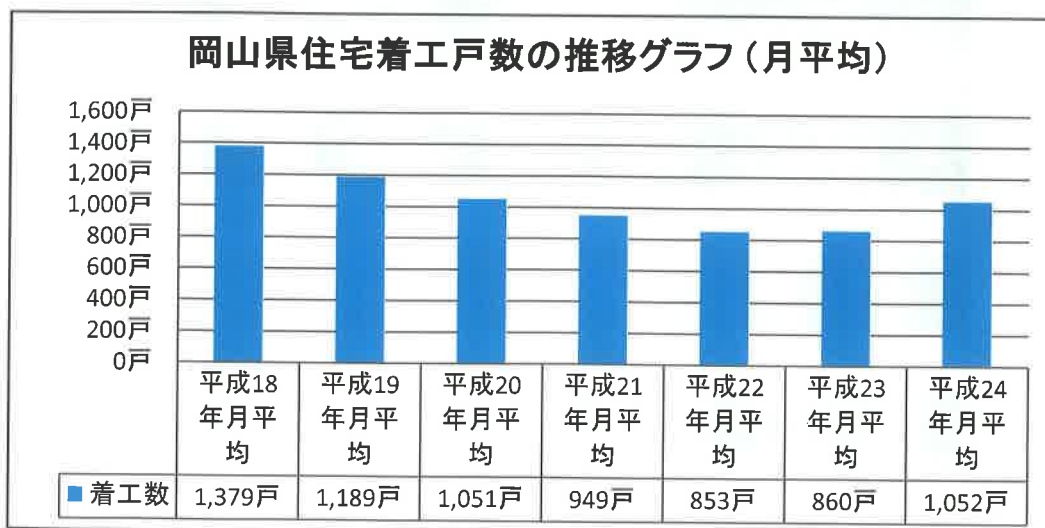
○販売だけでなく、修理や保守点検等のメンテナンス業務を強化し、毎月安定的な売上につながる努力をしている企業が複数あった。

○不動産業では商品物件が不足している。また、家賃の引き下げ競争になっている。

○ネット販売を行う企業が多くなってきた。ネット販売による売上が増加している。

○太陽光発電設備増加により将来電気代の値上げが予想されるが、天然ガスは将来値下げが予想される。ガスの空調設備を利用すれば電気代の10分の1のランニングコストに抑えられるそうだ。

○大企業が日中関係の悪化から中国の下請け工場での生産を中止し、東南アジアと日本へシフトをしている。



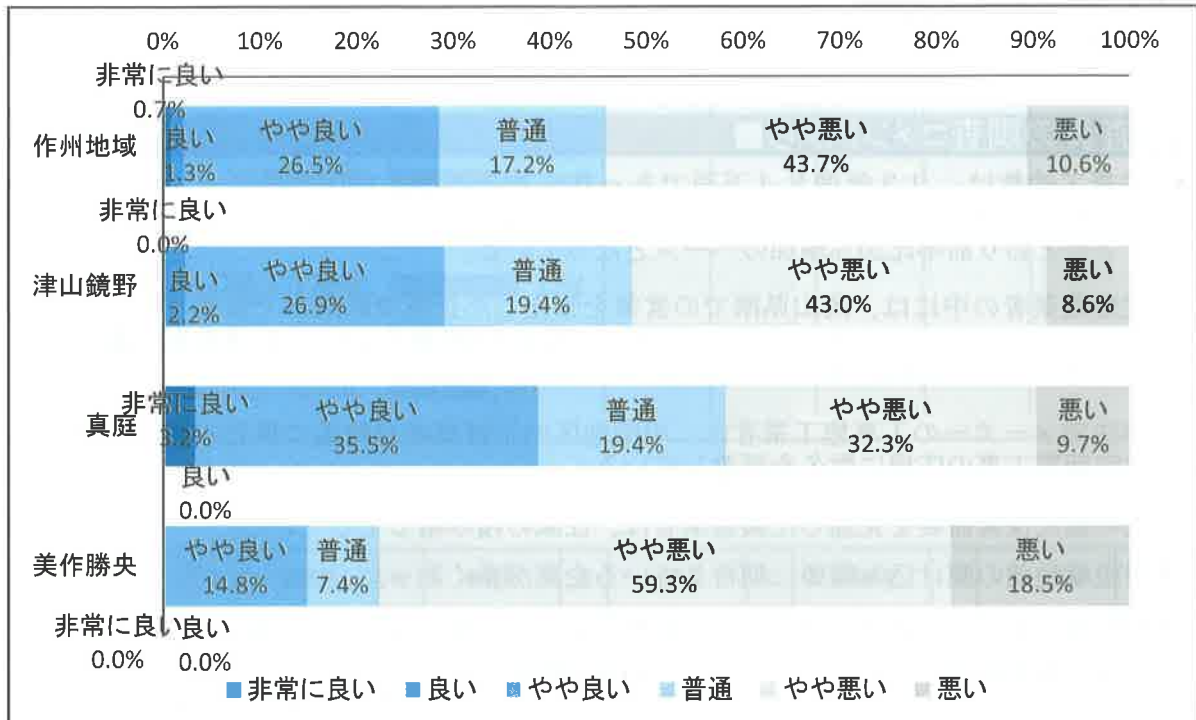
(注) 平成24年は、1月～10月までの平均で算出した。

以上

☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆

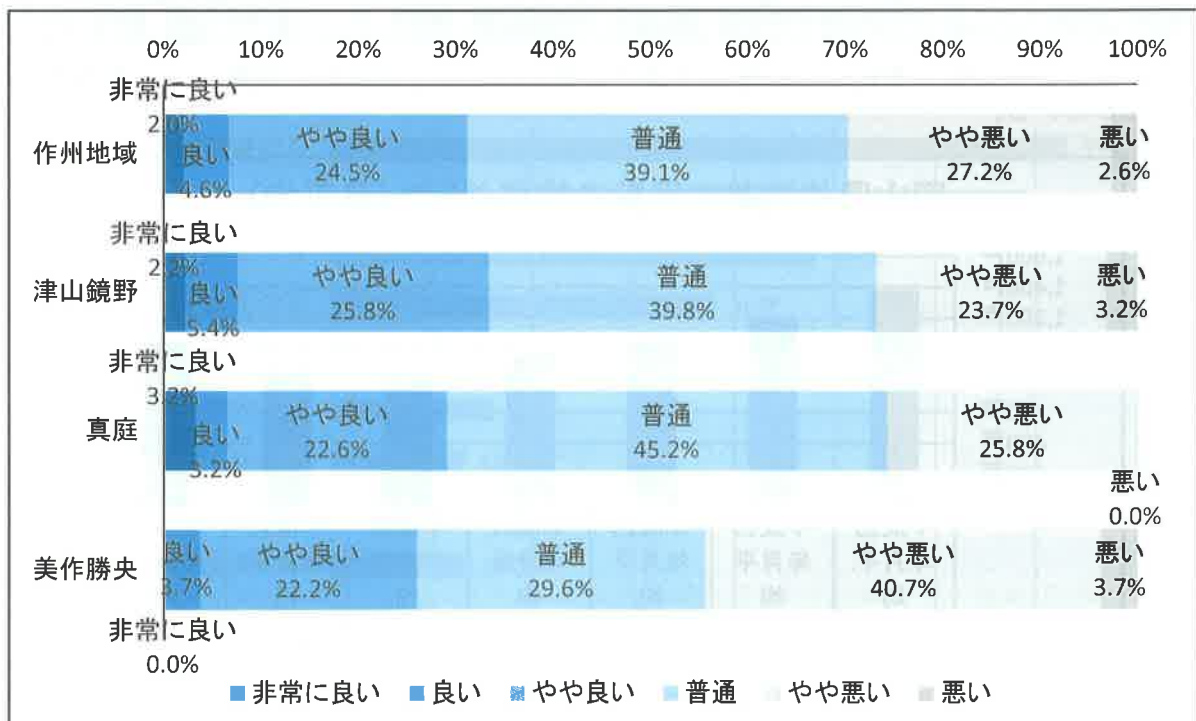
「平成25年の経営見通し」

問1. 貴社では、平成25年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

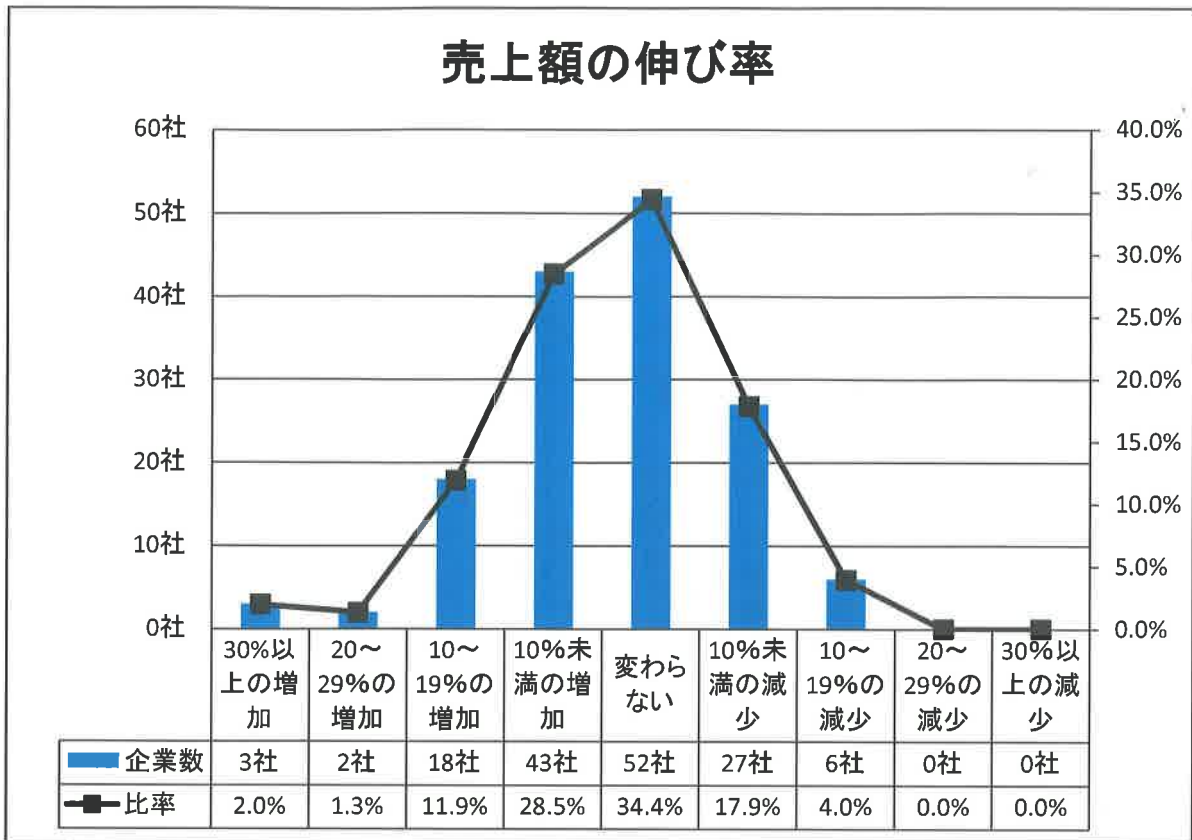


○特別調査では、平成25年の日本の景気を予想していただいた。衆議院選挙運動中であり政権がどこになるかで回答が変わるとのコメントが多かった。その中でも自由民主党が勝つ前提で回答された方が多かった。

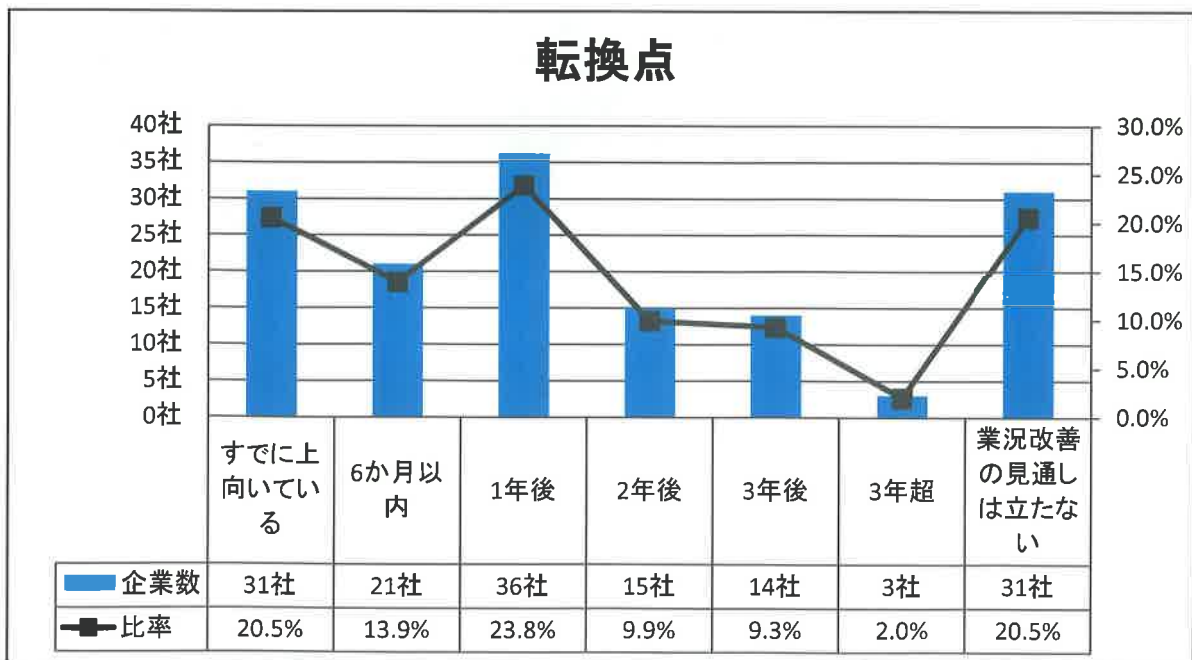
問2. 貴社では、平成25年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。



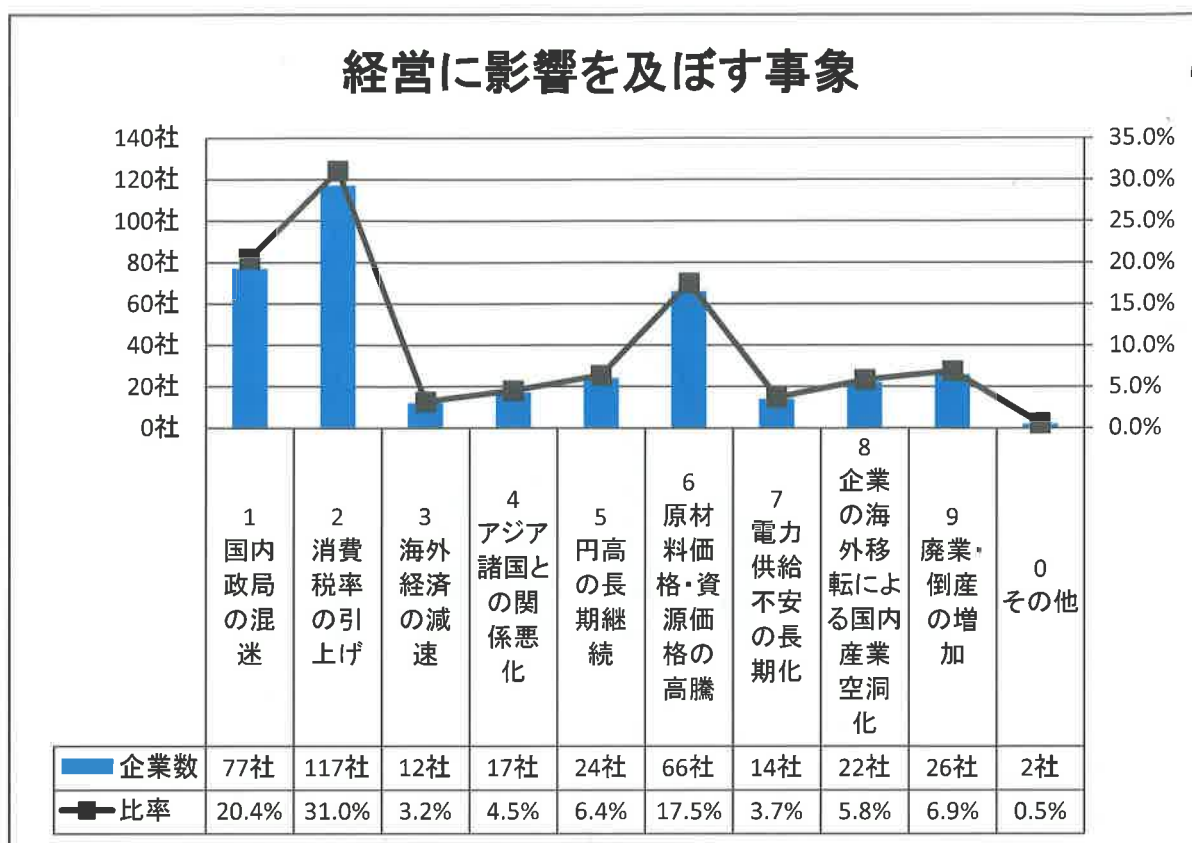
問3. 平成25年において貴社の売上額の伸び率は、平成24年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。



問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。



問5. 貴社では、平成25年以降を見通した場合、どのような経済的ないし社会的事象が経営に影響を及ぼすと考えますか。次の1~0の中から最大3つまでお答え下さい。



■ 調査要領 ■

1. 調査対象
当金庫営業エリア内の中小企業
2. 調査時期
2012年11月21日～12月7日
3. 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
D I を中心に分析
5. 季節変動について

■ 調査対象 ■

地区別	企業数	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	93	1~4人	14	9.3%
真庭地域	31	5~9人	29	19.2%
美作勝央地域	27	10~19人	43	28.5%
総計	151	20~29人	21	13.9%
業種別	企業数	30~39人	9	6.0%
製造業	50	40~49人	13	8.6%
建設業	27	50~99人	9	6.0%
卸売業	14	100~199人	9	6.0%
小売業	23	200~300人	4	2.6%
不動産業	10	総計	151	100.0%
サービス業	27			
総計	151			

業況判断D I は、毎年1~3月期に低下し、4~6月期に上昇するという季節的な変動（季節変動）がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整（季節調整）は行っておりません。

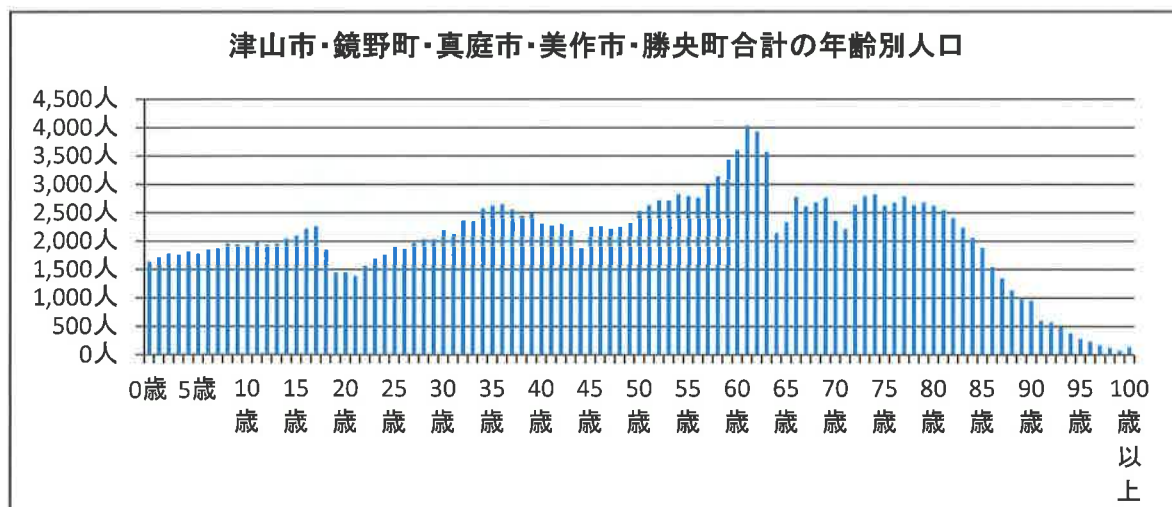
※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は正確性・安全性を保障するものではありません。

(参考)作州地域の人口推移

区分	岡山県	作州地域		津山市+鏡野町	真庭市	美作市+勝央町
各月1日 推計人口	総数 人	人	%	人	人	人
平成19年12月	1,953,096	247,102	12.7	123,373	50,451	42,732
平成20年12月	1,949,035	244,587	12.5	122,482	49,849	42,232
平成21年12月	1,943,740	242,034	12.5	121,295	49,217	41,876
平成22年12月	1,944,841	240,234	12.4	120,294	48,873	41,599
平成23年12月	1,940,930	237,996	12.3	119,446	48,247	41,125
平成24年11月	1,936,865	235,466	12.2	118,421	47,695	40,552
前年同月比	-4,000	-2,670	-0.1	-1,084	-573	-619
19年12月比	-16,231	-11,636	-0.5	-4,952	-2,756	-2,180

作州地域：津山市、真庭市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町、新庄村、西粟倉村

岡山県人口約194万人の内、作州地域の人口は23万5千人で12.2%の割合となっており、その割合は毎年徐々に減少している。平成24年11月は前年同月比2,670人減少となっている。勝央町を除き地域住民の高齢化と少子化が続いていると推測され、作州地域を商圏とする企業の経営上の問題点となっている。22年国勢調査データに基づく当金庫営業エリア内の年齢別人口は下のグラフのとおりとなっている。



■ 作州地域のパートナー ■

●本調査は、信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」の調査表を使用しています。信金中央金庫の『中小企業景況レポート』は、全国約16,000社の中小企業を全国270の信用金庫職員が面接により調査したものです。

●当金庫が目指す姿は「作州地域のパートナー」です。その意図は、「我々は、主役であるお客様や地域を支える「パートナー」でありたい。よき脇役、よき裏方として、お客様と相互理解の下、切磋琢磨し、お互いに高め合う存在でありたい」というものです。本業を真剣に取り組み、我々の意見にも耳を傾けていただき、協力し合えるお客様を我々はお手伝い致します。

●今年(2022年)は美作国建国1300年です。つしんでは美作国建国1300年記念定期預金(懸賞金つき金利上乘せ定期)を3月29日まで取扱中です。本定期預金新規契約金額総額の0.025%をイベントサポート費として1300年実行委員会に寄付します。法人も預入可能です。地域のイベントを盛り上げましょう。

●課題解決型営業(お客様の悩みを知り、その課題を解決していく行動の実践)を行っています。お客様にご満足いただきますようにご提案や情報提供させていただきますのでお気軽にご相談ください。

(ご相談の例：海外進出に関するご相談、事業承継のご相談、M&A(事業譲渡や事業譲受)、保険商品のご相談、不動産のご相談情報提供等)



岡山県津山市山下30-15

0868-22-4121

営業支援部

(担当：杉山裕昭)